

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年12月10日土曜日 第1学年3組 授業者中嶋 都

今日のテーマ「親切、思いやり」

使う教材「くりのみ」(光村図書)

育てたい心

よい人間関係を築くために、お互いが温かい心をもって接したり、相手の立場に立って支え合ったりすることが大切である。人と接する経験を積み重ね、相手の立場を理解したり、相手の気持ちに気付いたりすることで、思いやりのある行動が取れるようにしていきたいと思います。

お話について



北風の吹く寒い原っぱで、ばったり出会ったきつねと、うさぎ。それぞれおなかをすかせており、別々に食べ物を探しに行く。きつねが見つけたどんぐりを独り占めにしようとするいっぽうで、うさぎは、やっとみつけた栗の実を、きつねに分けてあげようとする。そんなうさぎの行動に心を動かされ、きつねは、涙を流すというお話です。

授業の流れ

親切にされた経験を発表し合う。

- 1 きつねが、「だめ、だめ、なんにもみつきりませんでした。」と言ったのは、どうしてでしょう。
- 2 見つけた栗の実の一つをきつねにあげたとき、うさぎはどんな気持ちだったでしょう。
- 3 目から、ぼたりぼたりと、涙が落ちたとき、きつねはどんなことを考えてたでしょう。

これから友達にどうしていきたいですか。

「まなびのきろく」を開いて、今日の学習を振り返りましょう。

ご家庭で

この時期の子供たちは、家族だけでなく、学校の人々や友達との関わりが増えてきて、相手のことを思いやる気持ちを育てる大切な時期です。是非、ご家庭でも相手の立場に立って考えられる子供に育てて欲しいと思います。